

問1	大分県の歴史をまとめた資料において、古代の豊後（ぶんご）の国の様子を伝える史料として「地理や産物、伝承が記録された地誌」が紹介されています。この史料の内容として最も適切なものはどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 天皇の系譜や神話を中心に、日本の成り立ちを物語風に記したもの	2. 天皇から防人、農民にいたるまでの幅広い人々が詠んだ歌を収録したもの	3. 大陸との交流や政治的な出来事や、年代順に詳しく記述したもの	4. 各国の土地の様子や特産物、地名の由来や古い言い伝えを記したもの
問2	第一次世界大戦が始まると、日本はヨーロッパ諸国の生産活動が停滞したことを背景に輸出を急増させ、「大戦景気」と呼ばれる好景気を迎えました。このとき、生糸などの主要な輸出先となり、日本の経済拡大に大きく寄与した国はどこですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. ドイツ	2. アメリカ合衆国	3. イギリス	4. ロシア
問3	アフリカの多くの国々で見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存した経済構造を何と呼びますか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 知識集約型経済	2. ブランテーション経済	3. モノカルチャー経済	4. 混合経済
問4	16世紀にマゼランの船団が、西向きに航海を続けて世界一周を成し遂げた際、船内で記録していた日記の日付が、帰還したスペインの実際の日付よりも1日遅れていることが判明しました。このような日付の矛盾を解消するために設けられた「日付変更線」の仕組みとして、正しいものはどれですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 緯度0度の赤道を基準とし、南半球から北半球へ移動してこの線を越える場合に日付を1日進める。	2. 経度180度の線を基準とし、西向きに移動してこの線を越える場合に、カレンダーを1日先に進める。	3. イギリスのロンドンを通る経度0度の線を基準とし、西向きに移動してこの線を越える場合に日付を1日戻す。	4. 経度180度の線を基準とし、東向きに移動してこの線を越える場合に、カレンダーを1日先に進める。
問5	つくば市の人口統計において、昼間人口を夜間人口で割って100を掛けた「昼夜間人口比率」が100%前後で推移している理由として、都市の特徴から考察した説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 研究機関や大学が集積して市外からの通勤・通学者が多い一方で、鉄道網の整備により居住する住民も増えているから	2. 鉄道開業以降、市外への通勤者と市外からの通勤者の双方が激減し、市内だけで経済活動が完結するようになったから	3. 都心へ通勤する住民が極端に多いため、夜間人口が昼間人口を常に上回る典型的なベッドタウンとなっているから	4. 市中心部には商業施設や官公庁のみが集中し、周辺部に居住者が分散するドーナツ化現象が顕著に現れているから
問6	不況期に政府が減税や公共投資の拡大を行うことで、経済がどのように好転することを期待しているか、その仕組みや目的として正しいものを次の中から選んでください。（2026年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 企業の法人税率を引き上げることによって国の財政赤字を解消し、国際的な通貨の信用を高める。	2. 政府の支出を抑制することで市場の金利を下げ、円安を誘導して輸出産業を支援する。	3. 家計の可処分所得を増やして消費の拡大を促し、企業の生産活動を活発にすることで雇用の改善につなげる。	4. 国民に節約を促して貯蓄率を向上させることで、将来の社会保障費の増大に備える。
問7	江戸時代、特に幕末の都市部において、飢饉による物価高騰や生活の困窮に苦しんだ民衆が、米を買い占めた商人などの家屋を襲撃して破壊した行動を何と呼びますか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 米騒動	2. 強訴	3. 百姓一揆	4. 打ちこわし
問8	日本の太平洋側に位置する三陸沖の海域では、北から流れてくる寒流と、南から流れてくる暖流がぶつかり合っています。この海域において、北から南下してくる寒流の名称と、その別名の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 親潮（千島海流）	2. 黒潮（日本海流）	3. リマン海流	4. 対馬海流
問9	1951年に開催されたサンフランシスコ平和講和会議を経て、日本は主権を回復し独立を果たしましたが、この時のインドの対応について説明した文として正しいものを次の中から選びなさい。（2024年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. イギリス経済圏の一部として、日本の経済復興を優先する方針を提案した	2. 会議に参加して講和条約に調印し、日本との国交を回復させた	3. 国際連盟の常任理事国として、日本の独立に対して反対の立場をとった	4. 会議には参加せず、後に日本と個別の平和条約を締結して国交を樹立した
問10	オセアニア州の海域に点在する、サンゴ礁からなる島々が直面している環境問題について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 氷河によって削られたフィヨルド地形が多いため、近年の急激な気温上昇によって海岸線の崩落が進んでいる。	2. 梅雨の時期における降水量の変動が激しくなったことで、島内の貴重な淡水資源である河川が頻繁に氾濫している。	3. 標高が低く平坦な土地が多いため、地球温暖化に伴う海面上昇や高潮によって、浸食や浸水の被害を受けている。	4. 地下にある永久凍土が温暖化の影響で融解し、地盤が不安定になったことで建物の倒壊が相次いでいる。
問11	地形図において、ある斜面の標高を読み取ろうとしたところ、等高線の間隔が非常に狭くなっていることが分かりました。この地点の地形的な特徴とその理由について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 水平距離に対する標高の変化が小さいため、平坦な土地が広がっている。	2. 等高線が標高の高い方へと凸状に曲がっているため、尾根になっている。	3. 水平距離に対する標高の変化が大きいため、斜面が急になっている。	4. 標高が非常に高いため、空気が薄く等高線が密集している。
問12	景気が後退している状況において、日本銀行が買いオペレーションを実施した場合、市場の利子率（金利）と企業の経済活動にはどのような変化が起きると期待されますか。その因果関係を説明したものとして適切なものを選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 市場の通貨量が減ることで利子率が下がり、デフレが解消されて企業の売上が増加する	2. 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす	3. 市場の通貨量が減ることで利子率が上がり、企業の借金が減るため経営状態が改善する	4. 市場の通貨量が増えることで利子率が上がり、企業は将来のインフレに備えて生産を縮小する

答え合わせ・解説

問1	答え 4 各国の土地の様子や特産物、地名の由来や古い言い伝えを記したもの	風土記は、朝廷が地方を統治するために各国の情報を収集した報告書です。設問にある豊後国（現在の大分県の一部）の風土記もその一つで、当時の地理（地形）、産物（特産品）、伝承（伝説や由来）といった情報が網羅されていました。これにより、中央政府は遠方の土地の状況を具体的に把握することができました。
問2	答え 2 アメリカ合衆国	第一次世界大戦中、日本はアジア市場への進出に加え、アメリカ合衆国への生糸の輸出を大幅に増やしました。これにより、日本はそれまでの債務国（借金がある国）から債権国（貸しがある国）へと転換し、工業生産額が農業生産額を上回るなど、経済構造が大きく変化しました。
問3	答え 3 モノカルチャー経済	特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済をモノカルチャー経済といいます。この構造では、天候による収穫量の変動や、国際市場における価格の変化が国内総生産（GDP）に直接大きな影響を及ぼすため、経済的な安定を欠きやすいという課題があります。
問4	答え 2 経度180度の線を基準とし、西向きに移動してこの線を越える場合に、カレンダーを1日先に進める。	マゼランの一行は太陽を追いかけるように西へ進み続けたため、毎日少しずつ日の出の時刻が遅くなり、地球を一周したときには合計で丸1日分の時間が経過していました。この「時間のずれ」を調整する仕組みが日付変更線です。アメリカ大陸側（東）からアジア側（西）へとこの線を越えるときは、それまでの遅れをリセットするために日付を1日進める（例：月曜日から火曜日にする）ことによって、世界各地との日付の整合性を保っています。
問5	答え 1 研究機関や大学が集積して市外からの通勤・通学者が多い一方で、鉄道網の整備により居住する住民も増えているから	昼夜間人口比率が100%に近いという状態は、その地域で生活する人（夜間人口）と、仕事や通学で滞在する人（昼間人口）のバランスが取れていることを示します。つくば市は筑波研究学園都市として多くの研究機関や大学を擁するため、市外からの流入（昼間人口の増加要因）が多いのが特徴です。同時に、鉄道網の整備によって居住地としての人気も高く、夜間人口も増加し続けているため、単なるベッドタウン（100%を大きく下回る傾向）とは異なる独自の人口構造を維持しています。
問6	答え 3 家計の可処分所得を増やして消費の拡大を促し、企業の生産活動を活発にすることで雇用の改善につなげる。	減税によって家計に余裕ができると、消費の拡大が期待できます。また、公共投資によって建設業などの企業に資金が流れると、そこで働く人の所得が増えます。このようにして社会全体の購買力が高まると、企業の製品やサービスが売れるようになり、結果として生産が拡大し、失業者の減少や賃金の上昇といった景気回復のサイクルが生まれることを狙っています。
問7	答え 4 打ちこわし	江戸時代の都市部で、生活苦に陥った民衆が特定の商人を対象に行った実力行使です。主に農村部で農民が領主に対して租税の減免などを求めて起こした「百姓一揆」とは、主体や攻撃対象が異なります。また、大正時代に起きた「米騒動」とも時代背景が区別されます。
問8	答え 1 親潮（千島海流）	日本の太平洋側を南下する寒流は親潮であり、千島列島に沿って流れてくることから千島海流とも呼ばれます。これに対して、低緯度側から北上してくる暖流は黒潮（日本海流）です。三陸沖はこの両者がぶつかる海域として知られています。
問9	答え 4 会議には参加せず、後に日本と個別の平和条約を締結して国交を樹立した	日本はサンフランシスコ平和講和会議によって連合国諸国と講和し、主権の回復を果たしました。しかし、インドは日本を対等な立場で国際社会へ復帰させるべきであるという独自の外交方針を持っていたため、この会議には出席しませんでした。その翌年である1952年に、独自に日印平和条約を締結することで、日本との国交を正式に樹立しました。
問10	答え 3 標高が低く平坦な土地が多いため、地球温暖化に伴う海面上昇や高潮によって、浸食や浸水の被害を受けている。	ツバルなどに代表されるオセアニアの島国の多くは、死んだサンゴの骨格などが積み重なってできたサンゴ礁の島々です。これらの島々は標高がわずか数メートルと非常に低く平坦であるため、地球温暖化による海水の熱膨張や氷河の融解で海面が上昇すると、高潮による浸水や海岸線の浸食、塩害といった深刻な影響を受けやすくなります。
問11	答え 3 水平距離に対する標高の変化が大きいため、斜面が急になっている。	等高線は、標高の等しい地点を結んだ線です。地図上の一定の距離（水平距離）の中に多くの等高線が描かれているということは、短い距離で標高が大きく変化していることを意味します。したがって、等高線の間隔が狭い場所は「傾斜が急な斜面」であり、逆に間隔が広い場所は「傾斜が緩やかな平地や緩斜面」であることを示しています。これは地形図から土地の起伏を立体的にイメージする際の基本的な原則です。
問12	答え 2 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす	日本銀行が買いオペレーションを行い市場の通貨量が増えると、資金の供給が需要を上回るため、お金を借りる際のコストである「利子率」が低下します。利子率が下がれば、企業は低い利息で銀行から資金を借りて新しい工場を建てたり、機械を導入したりする（設備投資）といった経済活動を行いやすくなります。これにより、社会全体の経済活動が活発になり、不景気からの脱却が図られます。